

こんにちは 豊前市議会です



News from the city council

No.114

令和3年11月

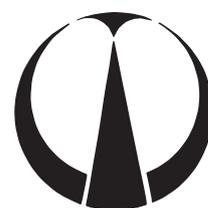


企業誘致特別委員会の研修会の様子
(豊前市政策アドバイザー 井上久男様をお招きして)

9月定例会 (9/1 ~9/22)主な内容

目次 CONTENTS

議案の概要	2~4P
令和3年9月定例会議案審議結果	5P
一般質問	6~12P
その他	13P
トピックス・編集後記	14P



議会へのご意見をお寄せください

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-8137 (直通)

ホームページ/<https://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

第4回定例会

令和3年第4回定例会は、9月1日から9月22日までの22日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例案件1件、補正予算1件、決算案件9件、報告案件7件、その他の案件2件の合計20件が提出されました。また、それぞれ所管の常任委員会や慎重に審査した結果、すべて原案どおり、可決・認定されました。

なお、議案第39号、議案第42号、議案第43号、議案第44号、議案第48号について、反対討論がありました。

最終日には、議会運営委員会より意見書案1件が提案され、原案どおり可決されました。



意見書第1号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。よって国においては、令和4年度地方税制改正に向け、確実に実現されるよう、強く要望する。

この意見書については、国へ強く要望しました。

産業建設委員会の申し入れ事項

- ◎公営企業会計の経営健全化に向け、近隣町へ、し尿処理施設への加入をなお一層努力するように。また、企業・個人に対しても上下水道へ加入促進すること。
- ◎「あくまでも監査委員の意見」という軽んずる発言があったが、監査委員の決算審査意見書については重く受け止め、その内容について真摯に対応すること。

文教厚生委員会の申し入れ事項

- ◎市バス事業については、現状をしっかりと把握・検証し、経営改善に努めること。また、利用者の利便性向上のため、JRとの接続等に配慮したダイヤ改正等を検討すること。

総務委員会の申し入れ事項

- ◎住宅新築資金等貸付事業特別会計については、令和8年の国の方向性が出るときに、国から起債分に対して必ず補填されるよう努力すること。
- ◎市内駅駐車場の空きスペースについては、様々な活用方法を検討し、有効利用に努めること。

以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会	◎黒江哲文○平田精一・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・丸丸裕和
文教厚生委員会	◎為藤直美○梅丸晃・村上勝二・秋成英人・郡司掛八千代・鎌田晃二・尾澤満治
産業建設委員会	◎秋成英人○福井昌文・梅丸晃・村上勝二・郡司掛八千代・平田精一・岡本清靖
予算決算委員会	◎福井昌文○村上勝二・梅丸晃・為藤直美・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・黒江哲文・平田精一・鎌田晃二・尾澤満治
議会運営委員会	◎尾澤満治○為藤直美・梅丸晃・村上勝二・黒江哲文・鎌田晃二

住民の納得できる予算執行がなされたか？

令和2年度の

一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、予算決算委員会で、一般会計の決算状況について審査を行いました。

委員会は、9月16日～17日の2日間にわたり開催し、令和2年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。委員会では執行部に対して多くの質問や指摘がなされましたが、申し入れ事項は次のとおりです。



決算審査における

申し入れ事項

令和2年度豊前市一般会計歳入歳出決算について

◎市の施策にかかわる重要な事項については、議会に十分な説明を行い、理解を得ること。

◎指定管理者団体及び補助金等交付団体の経営状況を十分に把握し、経営健全化に向け努力するように。特に、社会福祉協議会については、補助金に頼らない運営を行う事を強く求める。

以上、申し入れました。

《令和3年度一般会計補正予算の概要》

9月定例会では、17日の予算決算委員会で「令和3年度一般会計補正予算」の審査を行いました。委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第42号】 令和3年度豊前市一般会計補正予算(第7号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費及び市単独事業の追加経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

(主な事業)

◇地域おこし協力隊活用事業	+1,873千円
◇インフルエンザ予防接種助成	+7,158千円
◇新型コロナウイルスワクチン接種事業	+5,563千円
◇農村地域防災減災事業	+11,500千円
◇商工振興費(商店街スタンプラリー)	+2,542千円
◇修学旅行キャンセル料補助金(小学校)	+1,000千円
◇修学旅行キャンセル料補助金(中学校)	+2,500千円

《陳情書調査特別委員会》の最終報告

9月議会最終日に、岡本清靖特別委員会委員長より、 以下の内容の最終報告がなされました。

本委員会は、令和3年6月21日の本会議において、市政運営の進展に向けて調査することを目的に、全会一致で設置されました。

その後、委員会を4回開催し、慎重に調査してまいりました。

その結果、次のとおり調査内容をまとめることとなりました。

- 1 陳情書については、原本と確認できないため、これ以上の調査の継続は不可能である。
- 2 当委員会において、陳情書に押印されている印影と、執行部で保管している収入役印の印影と比較したところ、陳情書に押印されている印影が、収入役印と相違ないと判断した。
- 3 執行部及び議会事務局は、公印管理の規定に基づき管理を徹底し、再発防止に努めるとともに、公印が押された文書については、必ず写しを保管すること。

以上3点を調査報告し、本特別委員会の調査を終了いたしました。

令和3年9月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案 番号	議案等の名称	審議 結果	梅丸	村上	為藤	内丸	秋成	郡司	黒江	平田	福井	鎌田	岡本	尾澤	爪丸	賛 成	反 対
			晃	勝二	直美	伸一	英人	八千代	哲文	精一	昌文	晃二	清靖	満治	裕和		
議案 第39号	豊前市個人情報保護条例及び豊前市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について	原案 可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	1
議案 第40号	京築広域市町村圏事務組合を組織する市町村数の減少及び京築広域市町村圏事務組合規約の変更について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案 第41号	京築広域市町村圏事務組合からの行橋市及び京都郡苅田町の脱退に伴う財産処分について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案 第42号	令和3年度豊前市一般会計補正予算(第7号)	原案 可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	1
議案 第43号	令和2年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	1
議案 第44号	令和2年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	1
議案 第45号	令和2年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案 第46号	令和2年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案 第47号	令和2年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案 第48号	令和2年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	11	1
議案 第49号	令和2年度豊前市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案 第50号	令和2年度豊前市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案 第51号	令和2年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
意見書案 第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0



議長
爪丸 裕和



副議長
郡司掛 八千代

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成会』の一般質問



福井 昌文



鎌田 晃二



黒江 哲文



平田 精一



秋成 英人



内丸 伸一

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※ 文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

【質問項目】

(秋成英人議員)

① 新型コロナウイルス対策

② 保育施設

(福井昌文議員)

③ 住民サービス

④ 中小規模事業者の支援

⑤ 新型コロナウイルス関連

⑥ 公共施設の在り方

(内丸伸一議員)

⑦ 観光行政

⑧ 公共施設

⑨ 災害対策

(平田精一議員)

⑩ 第1次産業と防災問題

⑪ コロナ禍における諸問題

⑫ コロナ禍における教育問題

(黒江哲文議員)

⑬ 市民協働のまちづくり

(鎌田晃二議員)

⑭ 大量に配られた「公印疑惑」に関する調査報告書への市の対応

⑮ 新型コロナウイルスへの対策

保育施設について

秋成議員 現在、豊前市内のほとんどの保育施設が老朽化しており、更新が必要と思われる。しかし既存の制度では自治体負担が多く、年間に何件も建てることは難しいと考える。そのことを踏まえ、昨年の12月議会において、待機児童解消のための対策プランを作成し取り組むことで、自治体の負担割合を軽減することができると提案した。

市長からは、自治体の負担割合が軽減されれば、整備も早くできる可能性があるため、我々も勉強して前向きに考えていかなければならないとの力強い回答があった。また、市長の選挙前に配られた討議資料のマニフェストには、「子育て支援事業を、最優先課題の1つとして取り組みます。」と記載されていた。誰も全く予想がつかなかった新型コロナウイルスの影響もあり、予期せぬ出費等があったと思う。しかし子どもは、地域の、そして日本

の宝である。豊前市民の命、何よりも子どもたちの命を守ることが政治家に与えられた至上命題であると考え。保育施設の老朽化を解消するために、問題に取り組まれる考えは、変わらないとの認識で間違いはないか。

市長 子育て支援、少子化対策というのは大きなテーマであるという認識は変わっていない。

秋成議員 私が提案しているのは、国が進めている新子育て安心プランを実施するためのものだ。市区町村が策定する整備計画等に基づき、保育施設の新設等の実施に要する経費に充てるため、市区町村に交付金を交付するというものだ。これを申請すれば、自治体負担を大幅に減らすことができる。財政支援の対象となる待機児童に関する定義があるが、国や県に制度が利用可能であるかを確認したところ、豊前市でも整備計画を作成することにより可能であるとい

う回答であった。全国的には豊前市よりも条件が厳しくとも、この制度を活用している自治体があるということも鑑みれば、取り組む価値が十分にある。課題等が全てクリアになった場合、来年度または再来年度等の近い将来、当初予算において予算計上する気持ちはあるのか。

市長 更新・建て替えについては、保育連盟を含めて園を運営している方々の意見をしっかりと受け止めて、対応していくのが基本であり、私たちとしては順番等の話がまとまれば、しっかりと調査したうえで対応していかねければと思っています。

秋成議員 マニフェストを実行するという意味でも、また子どもたちの輝かしい未来のために、前向きに取り組んでいただきたい。子どもたちは、豊前市の宝であり日本の宝である。子どもたちの安心・安全のために対策を怠ることなく実行し、健やかに成長できるよう自治体としてのサポートをお願いする。

中小規模事業者の支援について

福井議員 新型コロナウイルスの感染拡大によって、生活に困っている市民や事業者へ、国・県・市は、様々な支援策を行っているが、先の見えない状況の中、事業者の皆様から今後の経営について、不安の声がある。中小規模事業者等への経済支援策について、現在までの状況及び今後の考えは。

産業建設部長 国の地方創生の臨時交付金等を利用して各種支援策に当たった。今後はプレミアム商品券の事業を行う準備を進めている。その中で、中小商店街での消費拡大のため、スタンプラリー等考えている。

福井議員 事業者に対して、国・県から多種多様な支援策が打ち出されているが、緊急事態宣言が繰り返し発出される中、周知方法や相談窓口の状況は。

産業建設部長 市のホームページや市報、防災ラジオ等を活用し、周知している。市役所のロビーで事業者の受付も行っており、支

援金等の申請については商工観光課、商工会議所等と連携する態勢を整えている。

福井議員 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することにより、厳しい経済状況の継続が考えられるが、今後の支援は。

産業建設部長 厳しい状況が続く中、移動スーパーやキッチンカーの導入で支援をしてきた。今後も国・県の経済支援策を注視し、また中小企業振興センターのよろず相談等を活用し、事業者支援に取り組んでいく。

福井議員 国の企業庁が開設しているミラサポラスという制度がある。補助金や助成金等、支援制度の検索、受けられる制度の絞り込み等、中小規模事業者非常に役立つという施策である。また、支援制度の活用例を掲載

しており、新たな業種への挑戦により収益に繋がった事例もある。豊前市も、このことを周知し、応援する手立てになればと思う

が見解は。
産業建設部長 紹介いただいたミラサポラスについては、大いに役立つと考えている。市としても活用し、事業者支援を進めていきたい。

福井議員 支援が必要な企業が、必要な支援を受けることができるよう開設されたミラサポラスの趣旨を踏まえ、豊前市の困っている中小企業者の方に、支援策を周知し、コロナ禍で経済的に厳しい状況を乗り切っていたべく、市の対応をお願いする。また、住民の生活に直結するような施策の計画を立てるときは、綿密に練り、計画を立ててからは粛々と進めていくべきだと考える。どうか未来ある子どもたちのため、市民の皆さんが胸を張れるような素敵な豊前市にいつかなることを心から祈る。



公共施設について

内丸議員 市民が待ち望んでいる老朽化した市民会館の建て替えだが、市民会館の現状での問題点として何ががあるか。

教育部長 市民会館は、1963年に建てられ、今年で58年になる。問題点は、設備の老朽化、雨漏り等があり、2階は、現在閉鎖している。耐震性は、構造を見てもらったとき、当時の構造はしっかりしている。問題ないとの回答ももらっている。

内丸議員 市民会館で発表会などの催し物をするときには、舞台袖に控室やトイレがない、多目的トイレも女子トイレの奥なので、男性は使いにくい。崩落の危険があるなど問題があり、2階席が使えない。豊前市で利用したくてもできない状況がある。そのことについて、どう考えているのか。

教育部長 一刻も早く新しい所を造らなければいけないと考えている。

内丸議員 先ほど福井議

員の質問で、建て替えについては、数年前に有識者で話し合い、答申が出ているとあったが、いかがか。

教育部長 平成27年に答申をいただき、その後話が進んでいない状況である。文化施設への補助金がないことがネックで建設もかなりの負担になる。今は、いろんな方法を模索するしかないと思う。

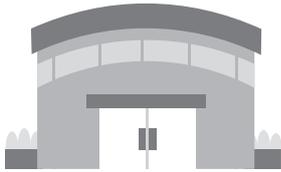
内丸議員 今後のことを考えれば、早期建て替えが一番望ましいと思う。台湾の大学との交流や、将来的にはサテライトキャンパスをと考えているなら、市民会館にサテライトキャンパス、商業施設、医療施設、市役所機能等が入った複合施設の建設を、PFI等を活用し、ぜひ検討していただきたいと思うが、いかがか。

教育部長 以前、PFIについては検討したが、民間企業が率先して来てもらうような場所ではなく、条件が厳しい。例えばPFIで建設しても、補助金等の財

源が伴わないと、建設には着手できないのが現状である。

内丸議員 上毛町で建設が始まった体育館は、様々な交流の場として活用されるこのことである。豊前市もしっかりとビジョンを定め、市民サービスの向上を図らないと、近隣市町で一人負けが目に見えている。市民からの要望が多い市民会館の建て替えに応えるのも市の責任だと思う。全庁挙げて知恵を出し合い、早期建設に努力していただきたいと思うが、市長、いかがか。

市長 新しい文化施設を、という声が大いなのは、認識している。お金さえあればなんでもしたい、というのが本音である。なんとかしたいという思いは共通点である。



第1次産業と防災問題

平田議員 地球環境の変化により、毎年のように豪雨災害に見舞われているが、いわゆる自然を利用した治水、代表的によく言われている水田ダム、田んぼダムであるが、この事業に対して補助金等はあるのか。

農林水産課長 活動費として多面的機能支払交付金というものがあり、1反当たり400円の補助の加算がある。

平田議員 今貰っている補助の付け足し程度ではない。次に、自然を利用した防水対策では、保水に大きな役割を持っている山林がある。最近の災害を見ると、山の崩壊により壊滅的な災害を起こしているが、山林の管理として、適切な間伐等は行われているのか伺いたい。

農林水産課長 市の約6割が山林である。伐採については、民有林等を含めて、適齢期を迎えている所を計画的に伐採、造林をしている状況である。

平田議員 地球温暖化により、化石燃料から再生可能エネルギーへと転換しているが、その中にバイオマスもある。テレビで伐採した後に、柱や板材、杭になる木材、バイオマスの原料という分別をしていたが、今後は分別しないと、ほとんど山に切り捨てにされる。豪雨災害時に山崩れを起こし、全部河川に放出され、橋に流水が引つ掛かり、氾濫を招いている。いわゆる木材を切り捨てしないようにするため、どのような取り組みをしているのか伺いたい。

産業建設部長 労賃がかかるものなどは、そのまま山林に間伐したものを置くのが主流だったが、それを燃料やチップにできないか、今後、森林事業者と協議し、近隣の市町村と協力して何かできないか考えたい。

平田議員 高いのは億くらゐするらしいので、チップ化する機械までは買えないと思う。ただ、輸

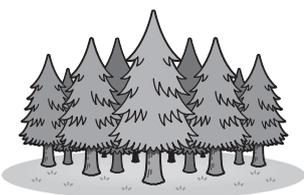
送費、人件費もあるので、森林環境税で人件費の補助等はできないか。

産業建設部長 令和元年度から森林環境譲与税が市に交付されている。主に作業道整備、間伐等の費用に使われている。よく調べて、活用できるものは活用していきたい。

平田議員 環境問題、バイオマス、再生エネルギーについて、市長の考えを伺いたい。

市長 気候変動に対して、この山を守り育ていくというのは、大きな力に変わっていく。そのための補助制度も、日本のグリーン戦略の中にも少しずつ出てきているようなので、しっかりと勉強し、人材も含めて検討していきたい。

平田議員 美しい山を守り、豪雨災害を起こさないように頑張っていたきたい。



市民協働のまちづくりについて

黒江議員 コロナ禍においてビジネスや生活環境

は大きく変化しており、行政運営や政策についても、このコロナ時代にそぐう柔軟な対策が求められる。豊前市の限られた予算でコロナ時代を乗り越えるには、官民一体の行政運営が重要だと考える。令和3年の市長の施政方針では、地域づくりの取り組みについて、全地区での地域づくり協議会の設立を目指し、地域の自主的・自律的な活動による活性化を支援するとともに、地域活動を担う人材の確保を支援するとあった。この「地域の自主的・自律的な活動による活性化を支援する」ことは、どう位置付けられているのか。

ただこうという取り組みをしている。

黒江議員 実際、地域づくり協議会も何をどうしているのか、これからどうしたらいいのか、混乱している状況もあると思う。この地域づくり協議会については、こういうビジョンを持ってやる、官民一体は、こういうビジョンだ、ということをつくるのが大事ではないか。常に市民と向き合い、市民の希望に応えようとする職員が、やりがいを持って、市民に接するには、市長、教育長をはじめ、上層部が市民満足度に向けた計画や組織の整備をすることが重要だと思う。そのことについて、市長に伺いたい。

だ。どのように優先順位を付けるのか難しいが、対応を誤らないようしっかりと取り組んでいかなければと思っている。

黒江議員 この取り組みは、相手があつてのことなので、豊前市職員がビジョンを共有し、一丸となつて市民対応の業務に努めることが重要だと思う。この協働のまちづくりについて、市民が混乱するか、それともやる気になるか、また職員がやりづらいか、やりがいを持つか、ここについては市長の方針と手腕にかかっていると思う。ぜひ市長の情熱を注いでいただき、素晴らしい協働のまちづくりのビジョンが実現できるよう期待する。



大量に配られた「公印疑惑」に関する調査報告書への市の対応について

鎌田議員 市長選と同時

期に大量に配られた公印疑惑に関する調査報告書に、市長が警察に刑事告訴したと書かれていたが、実際は口頭だけで、告訴状を提出していない。警察が作成した書類に市長が署名してなければ告訴したことにはならず、結果的には嘘になる。告訴状を提出することは、市長が被害者として、加害者を訴える行為だが、実際に被害が出ておらず、警察が告訴のための文書を作るとは思えない。また、この調査報告書は、

論点がすり替えられ、市長が被害者のようになっている。この内容により376人が投票する人を変更しただけで、選挙結果は変わってしまう。この調査報告書について、6月議会でする市長は関与していないが認識していると答弁をした。公印が使用されていることを認識したのであれば問題があると考え、対応すると思うが、しっかり読

み込んでなかったのか。また、6人の議員は市長と情報共有がなければ、この話は知り得ない。市長の後援会の報告書にも、詳細が記されており、警察に被害を届けていますと後援会の説明で配られているが、これでも市長は、認識はしていない、情報の共有はなかったということか。

市長 個人が出した文書に関与できないし、わざと読まなかったようなことはない。このことについて後援会の方々に説明をしたことはある。

鎌田議員 前例のないほど大量に、市長印が印刷されたものが配られたが、危機管理の面で問題視しなくてよいのか。市長の名義の印鑑が偽造されることへのリスクを軽減するのが課長、部長の責務ではないのか。

報告と理解しており、市が申し上げることはない。

鎌田議員 告訴したと配ったのだから、市長自ら告訴状を絶対に出してください。陳情書の公印に関して、市長はすぐ警察に行っている。調査報告書の公印に関しては、市が許可をしていないものが大量配布されたのに、警察に行かない。陳情書のほうは、被害者がいるか、犯罪になるか分からない。しかし、こちらは被害者がいる。許可なく公印印影が大量にまかれ、市が業務妨害のリスクを負い、訴える相手も分かっている。しっかり対応していただきたい。市長・執行部には失望している。一度も公印に関わる問題が起きて、市長は対応を答えない。6人の議員が大量に配った公印疑惑に関する調査報告書の市長印、印影が法律違反になる可能性があり、豊前市公印規則に違反している可能性が高い。真相究明の100条委員会の設置も否定され、せめてこのようなことが起こっていることを市民に伝えることが、私の使命だと感じて質問した。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかかしたい

『無党派議員』の一般質問

【質問項目】

(梅丸晃議員)

- ① ごみの資源化
- ② 再生可能エネルギー
- ③ 求菩提山とその周辺の景観保持
- ④ LINEの運用

【質問項目】

(村上勝二議員)

- ① 命を守る“最優先の新型コロナ感染症対策を
- ② 高すぎる国保税の引き下げを
- ③ 難聴者支援の現状と補聴器の購入補助を

【質問項目】

(岡本清靖議員)

- ① 就職支援

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① チルドレン・ファースト

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

ごみの資源化について



梅丸 晃

生涯学習課長 地域づくり協議会でも地域による資源ごみの回収を検討している協議会もある。ステーションを設置しても差支えないと考えている。

梅丸議員 ごみ資源化向上の入口として、古紙の循環型社会の形成を目指していく取り組みについて、執行部の考えを伺いたい。

生活環境課長 現在豊前市では、古紙も一般廃棄物として、毎月1回ずつ収集日を受けて収集している。

梅丸議員 小中学校の古紙回収や牛乳パックの資源化などの取り組みを実践し、社会見学として地元で学べる良い環境があると思うが、執行部の考えを伺いたい。

学校教育課長 現在、小学校では、環境にやさしいまちづくりの一つとして、ごみ処理や資源化を考慮するため、市内の小中学校で牛乳パックや古紙などの回収に取り組んでいる。また、小学校の社会見学として、市

の清掃センターや市内の製紙工場に見学を行っている。

の清掃センターや市内の製紙工場に見学を行っている。

梅丸議員 大切なのは、ごみを出さない社会、生活を減らしていくこと。ごみと扱えば経費をかけて燃やして炉を傷めCO2を排出するが、資源として扱える取り組みを強化すれば、売り払って収益化でき、製品として新しく生まれ変わりを循環していく。ごみを減らしていくこと、資源にしていくことについて市長の考えを伺いたい。

市長 ゼロウェイストも含め、ごみ問題を自分のこととして考えていき、それぞれ目標を立てて、動かしやすい体制をつくっていく。今の我々の課題でないかと認識している。

梅丸議員 一人の100歩より100人の1歩を、地球環境に優しい、そして資源と共に市民の優しい気持ちと一緒に循環していける、そんな豊前市を目指していただけるように、是非とも願います。

の清掃センターや市内の製紙工場に見学を行っている。

”命を守る”最優先の 新型コロナウイルス感染症対策を



村上 勝二

村上議員 政府は重症者以外、原則、自宅療養の方針を打ち出した。家庭内感染が広がり、病床不足で自宅に放置され亡くなることはあつてはならない。これまでのように入院ができませんと聞くと、豊前市ではどうなのか、お聞きする。

健康長寿推進課長 入院やホテル療養は、保健所の判断である。自宅療養者が増えているが保健所が電話で経過観察し、必要に応じてホテル療養等の手配を行っている。現在のところ希望者が入れないという情報は聞いていない。

村上議員 保健所の対応で、食の提供や日常の困りごとへの支援体制ができ、市町村と連携して自宅療養者の安全と命を守るべき方針が示されている。豊前市における医療状況も分からず不安を感じている

教育長 子どもたちは我慢した生活を強いられるが、この状況を理解し毎日頑張っている。今、学校での感染拡大や学校がやることに恐怖心を持つ大人が多いが、まず、自分たちの生活に気を付けて、家庭に感染を持ち込まない。今まで以上に感染対策を徹底することが子どもたちの教育を守

人が多く、感染した場合、市民に丁寧な情報を提供することを求める。次に、感染を封じ込めるため、豊前市も大規模なPCR検査や抗原キットの配布が必要で、個人負担がないよう、財政措置を図るべきだと思ふ。また、自宅療養者には、パルスオキシメーターの貸し出しを検討しては、いかがか。

市民福祉部長 検査キットを配布し使い方を任せるより、症状があれば速やかに受診し確定診断を受けることが大事だと思ふが、今後検討していきたい。パルスオキシメーターは、県が希望者に貸し出しているため、今のところ市で管理して貸し出すことは考えていない。

村上議員 人災とも言える未曾有のコロナ災害に対して、科学を無視し検査に補償はない。こうした現政権の転換を国民は求めている。新しい政治実現の力を信じて、市民の命を最優先に、市民が主人公の市政の実現の先頭に立つて奮闘する決意である。

が子どもたちの教育を守

就職支援について



岡本 清靖

岡本議員 豊前市内にある豊前地域職業訓練センターは、企業で働いている方や就職する方が各講座を受講し、技術の習得や資格の取得ができるなど、受講者のレベルアップや就職支援になる場所である。経営者においては、優秀な人材育成や人材確保につながるなど、重要な施設だと考える。職業訓練センターが開設されて何年が経つのか、また施設の改修について、お聞きしたい。

後、3年間は国からの補助金を受け、外部階段の改修・空調整備・耐震診断・水回りの改修や様式トイレ設置・外壁照明器具取り替え等を行った。その後も、漏水修繕工事・サッシ・ガラスの修繕等を行っている。また、講習室のエアコンなどは、職業訓練協会が順次、入れ替えを行っているようだ。

岡本議員 今回、私は、受講者のために環境整備が必要だと思ひ質問をする。譲渡されて10年経ち、外階段は雨ざらしで錆びて痛んでいる。溶接等を使う実技実習室は、暗い感じで、エアコンなど空調機器がなく、夏は暑く厳しい環境である。また、休み時間の際には、快適でゆつくりとくつろぐ場所を考えてほしいと思う。私がいくつか改善点をお願いしたが、いかがか。

商工観光課長 全体的に傷んだところは、その都度改修をしている。特に溶接

は国から換気を十分にとりいう指導を受け、常に窓を開けていて、ダクト換気によりエアコンの設置が難しいようだ。大型扇風機の増設や暑い時期を避けるように、日程調整をしていきたいと聞いている。

産業建設部長 休憩場所については、空き教室があれば休めるようにするなど、職業訓練センターと話し合いたいと思う。

市長 この建物も財政的に厳しいところがあり、一挙になにもかもというのは難しい。安全できちつとした職業教育ができるよう、環境整備には最大限努めていかなければならないと思う。

岡本議員 豊前市内で受講ができるのは本場に嬉しいことで、就職支援の場として、PRも大事である。この職業訓練センターは、豊前市として守ってもらいたい。そして、多くの受講者が来ていただけるように、環境整備をお願いする。

為藤議員 3年間の家賃補助であるが、その後、豊前市に住み続けている件

市民課長 豊前市が受理した件数は、平成29年度婚姻届92件・出生数154人、平成30年度67件・150人、令和元年度80件・152人、令和2年度61件・133人。令和元年5月1日の婚姻届は、12件あった。総合政策課長 新婚家賃補助の件数は平均して20件から30件の間を推移している。

チルドレン・ファーストについて



為藤 直美

為藤議員 少子化の問題で何度か取り上げてきましたが、地域で産み育てやすい、住み続けたい地域を目指して、何点かお尋ねする。婚姻や出生の推移、新元号になった日の婚姻届や新婚家庭の家賃補助の件数について伺いたい。

総合政策課長 期間満了後のアンケート調査をしたところ、約6割から7割がそのまま豊前市に在住している状況である。

為藤議員 かなりの方が住み続けているが、豊前市に家を建てたときに何か補助は検討されたのか。

総合政策課長 新築に対する一軒当たりの金額が高額になるので、財政面とところで、新たに財源を確保しないと難しい状況である。

為藤議員 是非、豊前市に住んでいただける政策、そしてメリットを打ち出すようお願いする。

国は、新たな成長の原動力として、年齢に切れ目のない官庁間の縦割りを排除し、妊娠前から出産、新生児、乳幼児期、学童期、思春期、各ライフステージに応じた切れ目のない支援、教育と福祉の連携のため、子ども庁の創設を目指している。豊前市が目指すチル

ドレン・ファーストについて市長、教育長の考えを伺いたい。

市長 少子化の中で、親には子どもを宝として育てやすい環境を、子どもには夢を持ってもらえるよう、オール豊前として支えていかなければならないと思う。

教育長 教育、子育てに投資をして、まちづくりを進めることを是非市民の皆さんのご理解を得て、大事に進めていきたいと考えている。

為藤議員 子どもが主役である、チルドレン・ファーストを掲げて、住みたいまち豊前を目指して支え合うまちづくりの実現に向けて、心一つにして、前向きに取り組んでいただきたい。

	婚姻届	出生数
平成29年度	92件	154人
平成30年度	67件	150人
令和元年度	80件	152人
令和2年度	61件	133人

企業誘致特別委員会の経過報告

特別委員会は、これまでに4回開催されました。この委員会は、市政活性化に向けて、企業誘致を促進するものです。主な内容は以下のとおりです。

第2回(7月5日開催)

議員より、豊前市における課題について意見を出し合い、執行部と意見交換をしました。

- ◇企業誘致推進体制の強化
- ◇誘致する企業の選定
- ◇工業用地の造成、企業誘致可能施設の整備
- ◇企業誘致に合わせた市全体の都市計画の策定

第3回(7月12日開催)

工業用地の造成や企業誘致可能施設の整備について、豊前市の現状、今後の見通し及び実現可能性について、執行部と意見交換しました。

第4回(8月10日開催)

豊前市政策アドバイザーの井上久男様をお招きして、

「企業誘致と地域活性化～アフターコロナの社会情勢等から考える～」と題して、研修会を開催しました。

井上様より専門である自動車業界の現状、これまでに取材された地方で活躍する企業、これからの企業誘致の視点について詳しく説明していただきました。委員との質疑応答では、予定時間を超えるほど活発な意見交換がなされました。

第12回新型コロナウイルス対策特別委員会の経過報告

特別委員会は、8月25日に開催され、執行部より、感染状況・新型コロナウイルスワクチン接種の現状について説明がありました。

説明を受け、委員よりいろいろな意見が出されました。主なものは以下のとおりです。

◎月別感染状況(人)

(8月24日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2年度	10	1					1	3	4	5		1	25
R3年度		11	5	2	55								73
合計	10	12	5	2	55	0	1	3	4	5	0	1	98

◎新型コロナワクチン接種率(%) (8月23日現在)

	1回目	2回目
65歳以上	89.12	87.51
全人口に対する接種率	54.55	44.81



- ・各自治体で夏休みの延長をしているところもあるが、どう対応するのか。学校の状況はどのようになっているのか。
- ・学校の件だが、8月30日を目途に判断ということだが、それまでに登校日があった学校もある。しっかり協議して、子どもの安全を一番に考えてもらいたい。
- ・感染者が増えている中、現在何人の方が自宅療養しているのか、情報は入ってこないのか。
- ・台風シーズンになる。避難所を開設したときには、避難所から感染者がでないようしっかり感染対策をお願いする。

豊前市台湾友好議員連盟の設立



豊前市台湾友好議員連盟の設立総会の様子

10月4日に、台北駐福岡経済文化弁事処の陳銘俊処長他4名をお招きし、経済・文化・教育・観光及び青少年育成など幅広い分野で、本市と台湾との交流を推進するとともに、その調査研究を行い、相互理解と友好を深めることを目的として、「豊前市台湾友好議員連盟」を設立しました。

本連盟は、賛同する議員をもって組織されており、郡司掛八千代副議長が会長に就任されました。

本連盟の設立をきっかけに台湾との友好関係に取り組んでいきます。

「東京2020パラリンピック」採火式



「採火式」式典の様子

8月14日、爪丸議長は、豊前市立多目的文化交流センターで、東京パラリンピックの聖火の種火を採る「東京2020パラリンピック」採火式に出席しました。

パラリンピックの成功と共生社会への想いを込めた「豊前の火」が灯されました。

令和3年度 議会報告会中止のお知らせ

毎年11月上旬(市内4カ所)に開催しておりました、第9回議会報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止といたしました。皆様には申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

過ごしやすい季節となり、本来であれば各地区で笛や太鼓の音色と共に里神楽が奉納され、また秋の行楽や味覚を楽しむイベントが開催されているはずであります。コロナ禍で中止となっております。山々が色づき、登山や森林セラピーといった、自然と触れ合い癒しの場所が豊前市には多くあり、豊前ならではの楽しみ方があります。密を避け、心身ともにリフレッシュしながら、豊前市の良さを再認識してみても如何でしょうか。

梅丸 晃

次回の定例市議会は 12月です

新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止のため、傍聴につきましては、当面の間、自粛いただきますようお願いいたします。詳しくは議会事務局へお問合せください。本会議については、インターネット中継しております。

豊前市議会

検索

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：為藤直美
委員：村上勝二 郡司掛八千代
秋成英人
- 印刷 築上印刷有限会社